



●内側（三つ折り）イメージ



静岡県

静岡県は、日本のほぼ中央に位置し、面積は約7,255 km²、人口は約375万人(平成24年10月1日現在)です。北は富士山や赤石山脈(南アルプス)の山々が連なり、南は遠州灘、駿河湾、相模湾に面し、パリエティに富んだ自然を有しています。

また、古くから東西交通の要所として発展し、近年は、新東名高速道路の開通、富士山静岡空港の開港、清水港や御前崎港の整備などにより、交通ネットワークが一層充実しています。

さらに、多くの温泉地を有する伊豆半島、ウインドサーフィンやクルージングなどのマリレジャーが楽しめる浜名湖など観光資源も豊富です。



静岡草
富士山と静岡県の地形を曲線で構成し、其民に親しみやすい、優かて明るく、住みよい静岡県を表現するとともに、力強い前進と団結をデザインしています。



静岡鳥 (さんこうじょう)
「さんこうじょう」は、4万の終わりを日本へ戻って来て、静岡県では富士山のみもとなどに住んでいます。鳴き声が「月、日、風、はいはい」と聞こえるので、「三光鳥」の名前がつけられました。



静岡花 (つつじ)
静岡県には、数多くの野生のつつじがあります。「つつじ」は、静岡県の気候風土に合っているうえ、花期も長く、栽培も容易なため、多くの民に親しまれています。

50円ハイカラー・クワッド貨幣

ハイカラー・クワッド貨幣とは、2種類の異なる金属を組み合わせるハイカラー1面と、金銀銅を異なる種類の金属で組み合わせるクワッド1面を組み合わせたもので、

(静岡県)表面「富士山と茶畑」

○ 富士山と茶畑をデザインしています。
表面(1面)：日本を代表する山であり、その標高は3,776mで我が国の最高峰である。古くから信仰の対象として知られ、また、両面の風景と、静岡の歴史を象徴する茶畑をデザインした。1952年(昭和27年)11月の特別郵便に指定され、2011年(平成23年)には国指定の歴史・観光地「静岡市の茶畑」に指定された。静岡市の茶畑は、1941年に第一回静岡茶博覧会を開催し、茶畑の景観が全国的に有名になった。静岡市の茶畑は、静岡市の茶畑(平成24年度)で全国一、産茶量は33,500t(平成23年度)で全国のおよそ1割を占めている。



SHIZUOKA

静岡

50円ハイカラー・クワッド貨幣の概要

製造	50円
素材	銅・アルミニウム・鋼、白銅及び鋼
高さ	厚さ2.5mm、厚さ12.5mm、厚さ12.5mm
幅	7.62mm
重量	3.75g
その他の特徴	見出しのデザイン、特徴等